

目標達成計画

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20	利用者の生活歴や趣味を把握し職員間で共有している。馴染みの場所・人との繋がりや継続性については家族の協力も得られているが、今後さらに利用者がその人らしく暮らし続ける事を支援する為に、職員間でアイデアを出し合いながら取り組んでいくことに期待したい。	利用者個々に合った生活の場と環境作りを行い、また同じフロアの利用者との橋渡しの役割を職員が担っていく。	各居室担当がご家族様と連絡を取る際に、過去の生活歴や趣味を伺いレクに活かしていく。また食事やおやつに関してもアンケートを行い、ここでの生活をより楽しんで頂けるようニーズの掘り起こしを行う。	2ヶ月
2	2	事業所でも地域とのつきあいがこれからの課題と認識している。今後は多様なボランティアの受け入れや、事業所の行事に地域の方がたくさん来られ、交流の輪が広がるような取り組みに期待したい。	コロナ禍の中でもやれることを探り、地域との交流を途絶えさせない。	直接対面する地域の寄り合いサロンへの参加は自粛しているが、地域の障害者施設で作っているパンの訪問販売(現在は届けてもらうのみ)を利用し、手紙のやり取りを続けている。	1ヶ月
3	35	災害時の事業所と地域との協力体制や、地域の避難受け入れ時に事業所として貢献できることについて、運営推進会議や地域の防災訓練への参加などを通じて今後さらに具体的な話し合いが行われることが期待される。	まずは事業所内での防災意識の向上・防災対策の確立を目指し、他施設や地域との連携を図っていく。	防災委員会主導で定期的な防災訓練は行っているが、敢えて日付を決めず突発的な防災訓練も計画している。他施設の運営推進会議には書面にて参加し、防災訓練に対しての意見交換を行っている。	3ヶ月
4	4	運営推進会議に利用者が参加する事で、当時所の意見が反映される会議が行われることが望まれる。また、事業所行事や防災訓練などと日程を合わせた日常の様子をメンバーに見てもらい機会を作る等、より質の高いサービスが提供できるよう会議を活用していくことを期待したい。	直接集まったの会議は中止しているので利用者の参加を見送っている。書面にてのやり取りでの会議は続けており、コロナ禍が終了した際には利用者も参加してもらったの会議や、メンバーにも行事や防災訓練に参加してもらえるよう要請していく。	4月から現在まで、運営推進会議は書面での会議を行っている。返信用封筒を同封し、頂いた意見に関しては議事録にて提示したりと、書面でのやり取りが続いている。	3ヶ月
5					ヶ月